

大和郡山城跡と筒井城跡を巡る



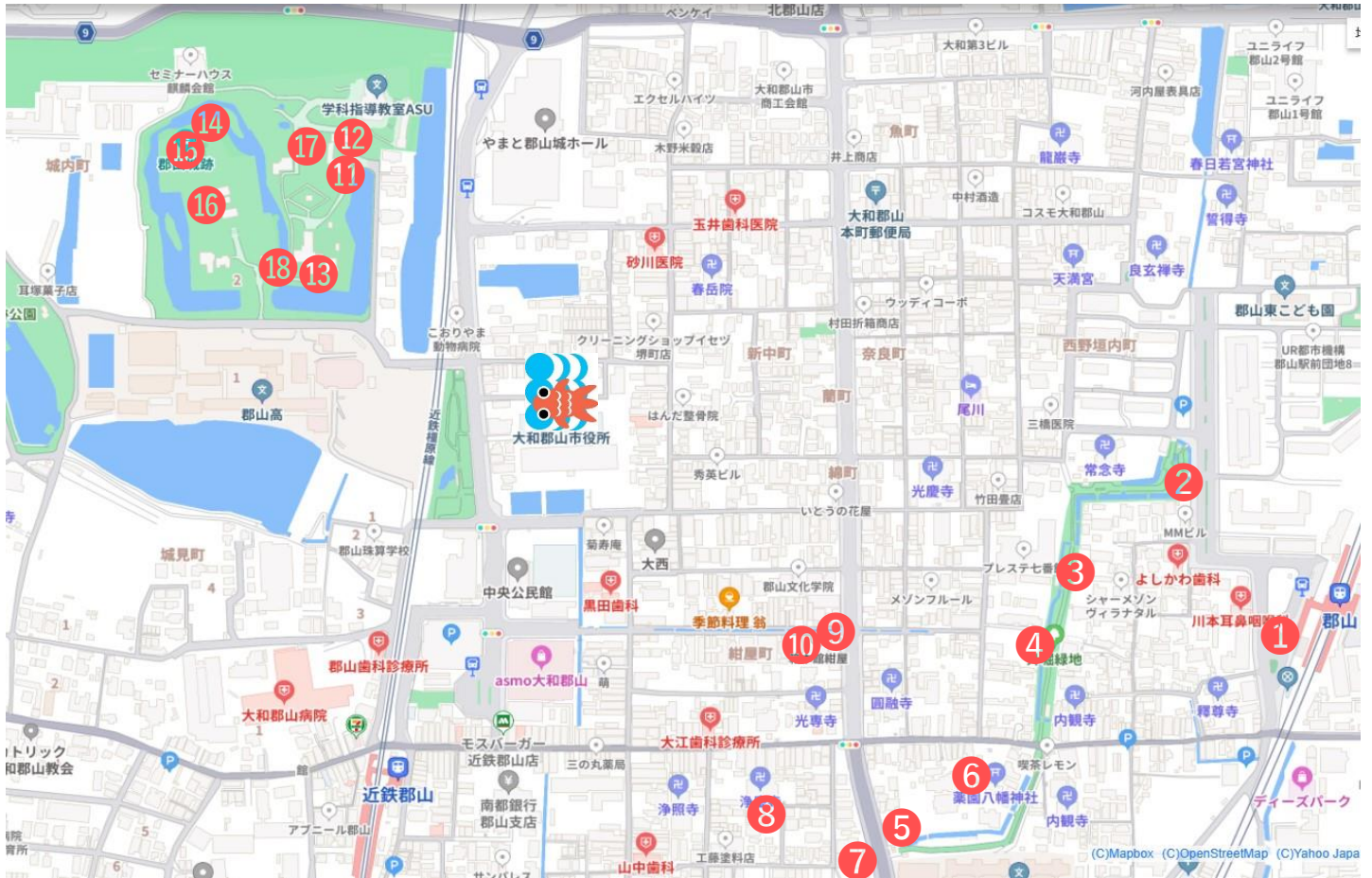
大和郡山市市制70周年
Yamatokoriyama City

2023年 9月22日 (金)

午前 : 大和郡山城跡散策

午後 : 筒井城跡散策

・ 午前の部 大和郡山城跡散策

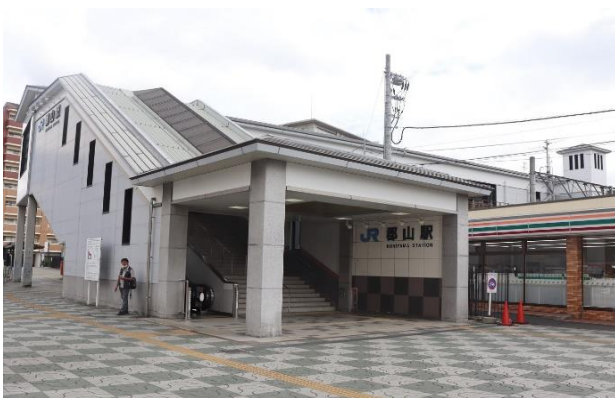


午前に訪れる郡山城跡について

大和の統一をはたした筒井順慶は天正8年（1580年）筒井城から郡山城に移り、築城が開始された。天正13年（1585年）には豊臣秀吉の弟：秀長の居城となり、大和・紀伊・和泉100万石の領主として秀長が入城すると、修築は本格化する。明治維新後の廃城令により櫓、門、塀などの建築物はすべて解体されたが、石垣や堀の多くは今も当時の姿を伝えています。（続日本100名城に選ばれています）春の桜が有名で、例年桜の開花時期には大和郡山お城祭りが催されます。

J R 郡山駅を 10 時30分に、4 班に分かれてガイドさんと共に散策に出発しました。

①



👉 J R 郡山駅西口

①



👉 郡山城をイメージした J R 郡山駅駅舎

郡山駅について（ガイドさんから教わりました）

明治40年（1907年）関西鉄道⇒国鉄に変わる際、東北の郡山と駅名が混同するため、大和郡山としようとしたが、地元住民は歴史がこちらの方が古いと陳情し、郡山となったらしい。

平成9年（1997年）駅を橋上駅舎に変更した際、駅舎のデザインに郡山城をイメージしたらしい。

最初は、外堀緑地を訪れました。

郡山城の外堀の一部（常念寺～薬園八幡神社周辺）を活用した緑地公園。美しく整備された園内では堀が復元され、郡山名物の金魚や鯉が堀に放されている。トイレや四阿（あずまや）風の休憩所もあり、散策途中に一息つくのが最適です。

16世紀終わり頃の外堀普請にともなう「奈良口の川違え」が行われるまで此処を秋篠川が流れていました。

②



外堀緑地北門

②



郡山城外濠跡 常念寺裏濠

③



外堀緑地

③



外堀緑地

④



外堀緑地の案内板

⑤



城下町まっぷ

続いて、薬園八幡神社～源九郎稻荷神社を参拝しました。

薬園(やくおん)の社名は、奈良時代薬草園の地に造営されたことに由来すると伝えられています。

6



薬園八幡神社の本殿

6



薬園八幡神社を参拝

源九郎稻荷神社：歌舞伎・文楽に登場する「源九郎狐」をお祀りする神社です。

7



源九郎稻荷神社の鳥居

7



源九郎稻荷神社を参拝

続いて、町家物語館～箱本館「紺屋」を訪れました。

大正13年に建てられた木造三階の元遊郭建築で、廃業後は下宿として利用されていました。

8



町家物語館

9



道の中央を流れる紺屋川

今も道の中央を水路が流れる紺屋町で、江戸時代から1990年代中頃まで続いていた藍染商の建物。

10



箱本館「紺屋」

箱本館「紺屋」休憩できます



大和郡山市のマンホール

「郡山城跡」は、戦国時代の野面積み石垣が良好な状態で残る全国でも貴重な城跡で、石垣に寺院の礎石・石塔・石仏など多数の転用石材が使われているのが特徴です。

11



👉 追手向櫓

12



👉 追手門

13



👉 柳沢文庫

14



👉 天守台北側の石垣にある「さかさ地蔵」

15



👉 郡山城天守台 (標高81m)

15



👉 天守台上の発掘礎石列

15



👉 天守台からの眺め (北方向)

16



👉 柳沢神社

17



👉 城跡公園内の広場で昼食

18



👉 極楽橋で記念撮影

・ 午後の部 筒井城散策

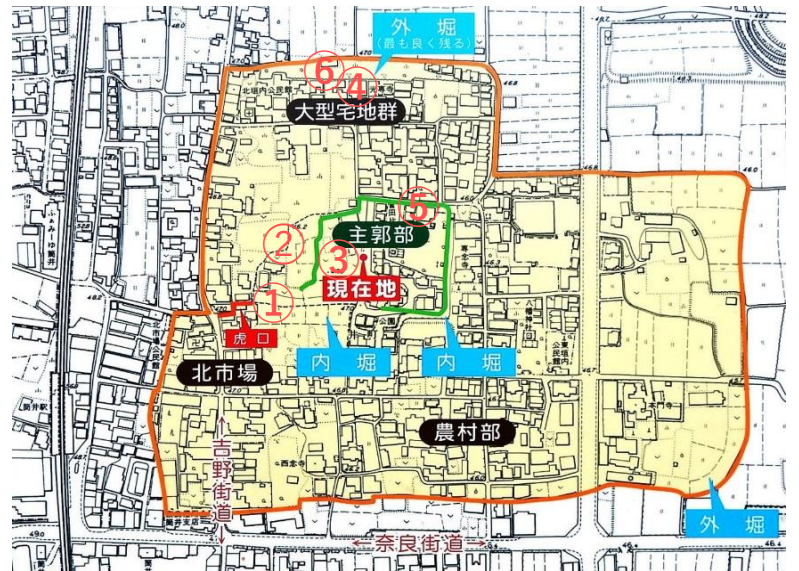
午後を訪れる筒井城跡について

筒井城は、永享2年（1430年）に筒井順永によって築かれ、信長より支配を任せられた順慶が郡山城に移り、同時に大和国内の城郭破却を命じられて筒井城を廃した。近鉄筒井駅から堀跡をたどっていくと、途切れ途切れではあるがほぼ城の外周を一周できる。



①

筒井順慶城跡石碑



②



城跡らしき中を歩きました

③



筒井城跡の看板

③



筒井城跡の掲示板説明

④



光専寺の門

⑤



菅田比賣神社

⑥



外堀の跡